共同特許出願

熊本大学 Kumamoto University

Quool

KYUSHU ORGAN NEEDLE CO., LTD.
九州オルガン針株式会社



Ez-Plant™は
開発に携わった全ての研究者と技術者の
情熱により誕生しました。

製品についてのお問合せ先
株式会社キュオール
〒860-0862
熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1
熊本大学くまもと地方産業創生センターベンチャー支援室
Tel : 096-373-6522
E-mail : ryushokariya@gmail.com

製造元
九州オルガン針株式会社
〒869-0301
熊本県玉名郡玉東町稲佐 288
Tel : 0968-85-3131（代）
Web : https:kyushu-organ.co.jp
E-mail : info@kyushu-organ.co.jp

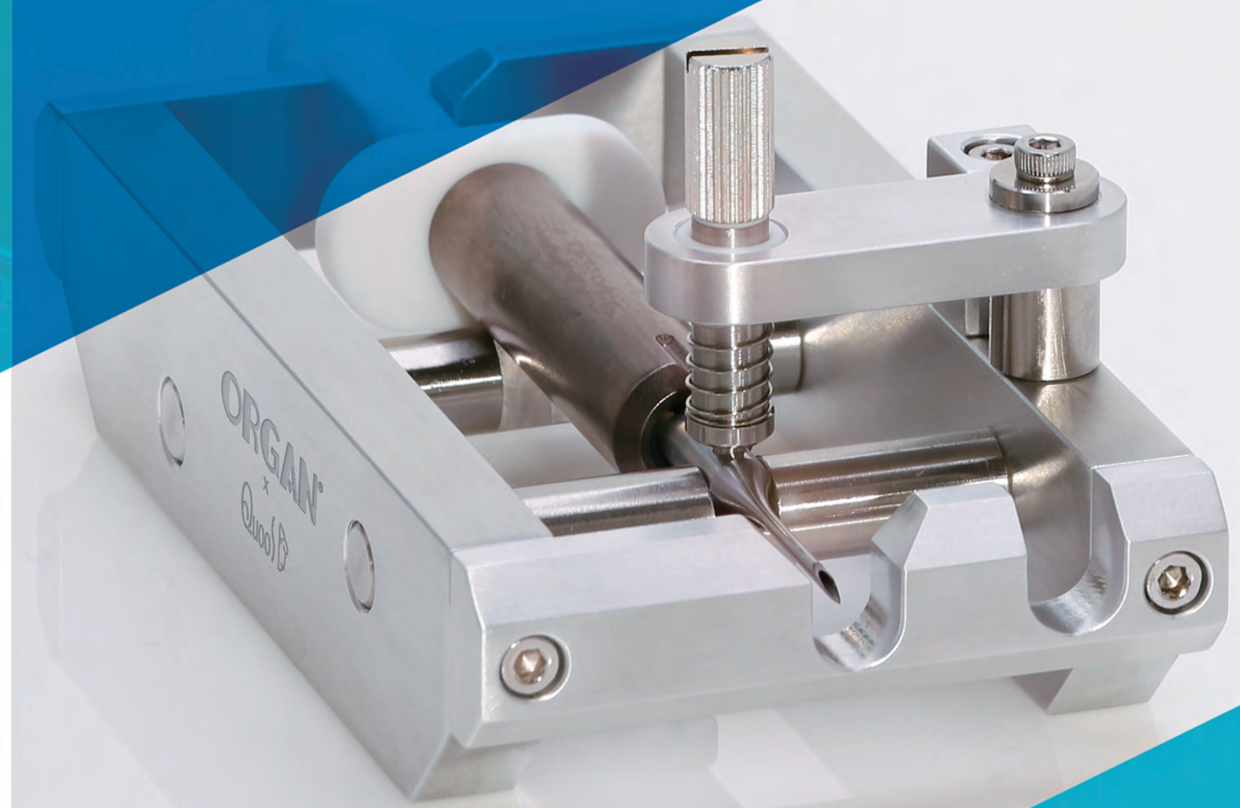
※カタログ記載の内容および製品の仕様等は品質改善のため予告なく変更することがあります。　© カタログの内容の全体、または一部の複写・複製を禁じます。

生体組織移植針キット

ORGAN GROUP

Ez-Plant™

- 切開や麻酔を必要としない注射器による組織移植 -



九州オルガン針株式会社

製品概要

熊本大学、株式会社キュオール、九州オルガン針株式会社　共同特許出願



ハードケース付

~ 針づくり100年のノウハウと想いを込めて ~

従来の移植用注射器では生体組織などの軟質固形物の移植に用いようとした場合、移植片を針筒内に装填する作業が大変困難で、施術の安定性の観点からは現実的なものではありません。その様な背景から生体組織の移植には、主にメスやハサミ等によって切開する方法がとられ、極めて侵襲性の高い施術となるのが通例でした。**「侵襲性、操作性、時間、コスト」**それらの問題を一気に解決するべく「熊本大学の岡田教授」と同大学内に研究室を持つベンチャー企業「株式会社キュオールの刈谷博士」の発案により共同開発されたのがこの**「Ez-Plant™」**です。
当社（九州オルガン針）では、この開発コンセプトが企業理念にもマッチすることから、針づくり 100 年（グループ企業）に及ぶノウハウと想いを込めて開発に臨みました。

マウスに与えるストレスを軽減

移植時間の大幅短縮

オペレーションの簡略化により時間の大幅短縮に貢献します。

移植コストの軽減

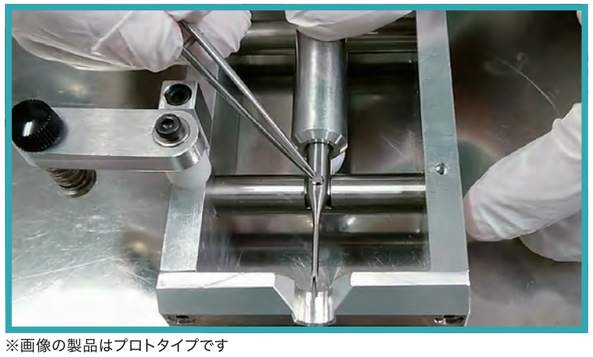
ランニングコストは従来の施術方式と比べて格段に下がります！



侵襲度軽減

従来から用いられてきた留置法とは異なる

●実験動物への福祉向上！
●切開を必要としない！
●麻酔を必要としない！
●クリップや縫合も不要！



※画像の製品はプロトタイプです

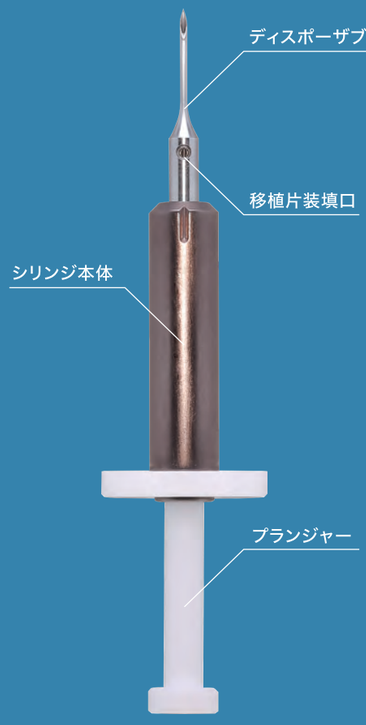
操作性抜群

習熟不要で初心者でも簡単に操作可能

装填治具によって軟質な生体組織も簡単確実に装填可能で、移植プロセスは注射器の使用法と同じなため習熟を必要としません。

操作方法





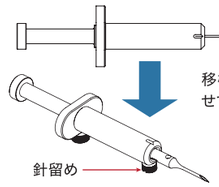
主な材質

注射器：アルミ (ニッポリン処理)、ステンレス、樹脂
装填治具：アルミ (アルマイト処理 or ニッポリン処理)、ステンレス

操作方法
実技動画

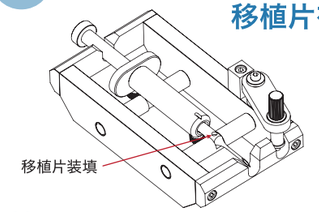
Ez-Plant™

1 シリンジ本体に移植針をセットする



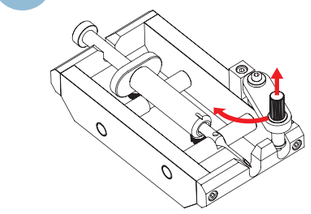
移植針の装填穴をシリンジの溝に合わせて差し込み、針留めを回して固定する

2 スタンドにシリンジを固定 移植片を装填口へ載せる



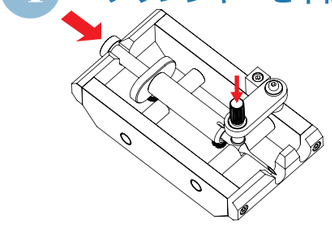
シリンジを装填治具に固定したら、2～3mmの腫瘍組織片を装填口へ載せる（ピンセットをご利用ください）

3 装填口へ圧入補助アームをセットする



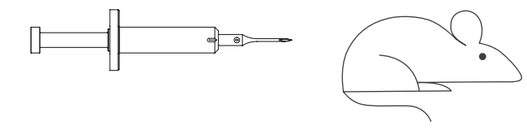
ローレットボルトを上方へ引きながら圧入アームを回転させ装填口に合わせる
装填口の位置を確認しながらローレットボルトを軽く押さえ移植片を針央へ圧入する

4 プランジャーを中間部まで押し込む



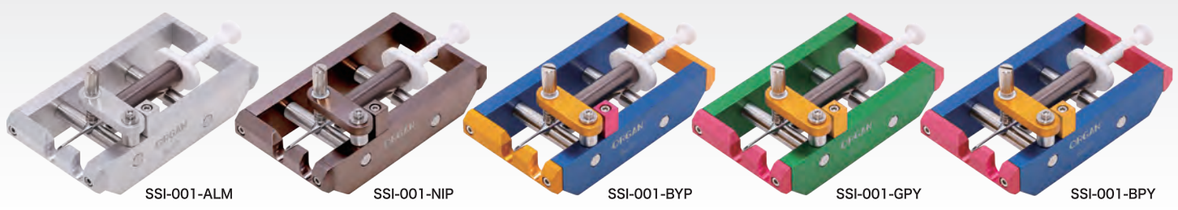
ローレットボルトを軽く押さえたままプランジャーを押し込み止まる位置までスライドさせる
圧入アームを外し、移植片が針筒内に収まったことを確認する

5 スタンドからシリンジ本体を外し マウスの皮下へ細胞移植



※詳しくはQRコードから実技動画をご覧ください。

- 製品カラーバリエーション -



※それぞれ個別にお求め頂けます。**針部：**SSI-NE-001　**注射器グリップ部：**SSI-GR-001　**スタンド部：**SSI-ST-001- (ALM, NIP, BYP, GPY, BPY)